

(平成 30 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：酒米の高品質・安定生産技術の開発

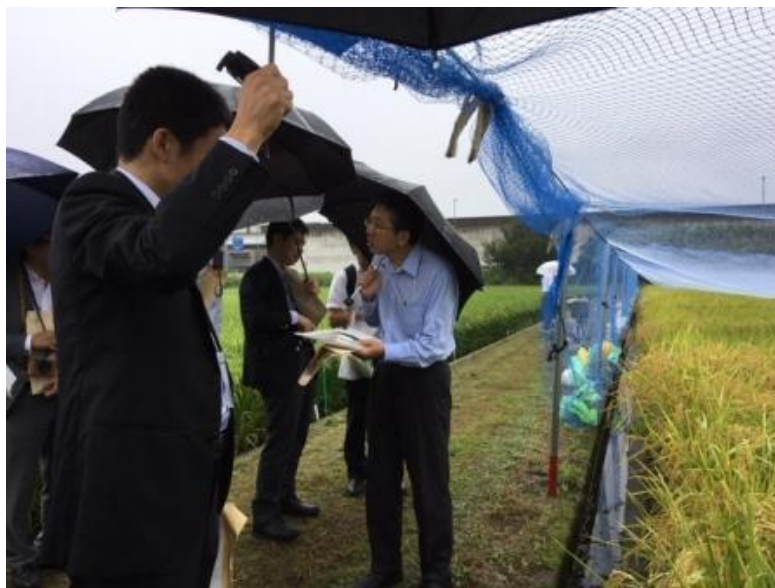
情 報

「次世代酒米コンソーシアム」による情報交換会を開催しました

当センターでは、兵庫県、栃木県、石川県、山口県や京都府内の計 17 の機関で構成する「次世代酒米コンソーシアム」に参加し、京都府オリジナルの酒米「祝」と「京の輝き」の収量と品質の向上を図っています。

9 月 21 日に栃木県農業試験場で開催された情報交換会に参加し、当センターからはスマートフォンを活用した酒米の生育診断技術の開発状況を報告しました。検討会では酒米の施肥診断等について、活発に意見が交換され、IoT 技術に対する参加者の関心の高さが感じられました。

今後、スマートフォン等による IoT 技術確立をさらに前進させ、農家の誰もが手軽に取り組める技術として普及できるよう努めていきます。



「祝」「京の輝き」を含む 5 府県の品種がそろって
栽培展示されています（栃木県農業試験場）